

概要版 がん診療連携拠点病院院内がん登録2010年診断症例
全国集計 報告書の発行・公開について

- ▶ 平成24年3月に発行・公開した2009年診断症例の集計報告に続き、4回目の報告です。
- ▶ 2009年報告と比較して、集計対象施設が18施設増えて387施設、それに伴い全登録数が61,538例増えて、548,979例でした。
- ▶ 施設別にみた全登録数の中央値は1,251例、最小168例、最大8,620例で、2009年報告と比較して、いずれも少し増加しています。
- ▶ 2010年報告書は2009年報告とほぼ同様の構成であるため、容易に2009年の集計値と比較することができます。

表2-1 全登録数の推移

	2007	2008	2009	2010
拠点病院数（調査時）	288	351	377	388
集計対象施設数	287	359	370	387
全登録数	327,889	428,195	487,441	548,979
1施設当たりの全登録数：中央値（最小-最大）	--	1,038 (136-8,600)	1,150 (155-8,866)	1,251 (168-8,620)
症例区分8を除く集計登録数			471,827	530,363

表3-7-1 登録数上位10部位

	2010年			2009年		
	全体	登録数	割合	全体	登録数	割合
1 大腸	71,662	13.5	1 大腸	64,263	13.6	
2 胃	63,718	12.0	2 胃	59,003	12.5	
3 肺	61,083	11.5	3 肺	53,687	11.4	
4 乳房	52,846	10.0	4 乳房	46,120	9.8	
5 前立腺	40,649	7.7	5 前立腺	36,238	7.7	
6 肝臓	23,368	4.4	6 肝臓	21,992	4.7	
7 子宮頸部	19,829	3.7	7 悪性リンパ腫	16,280	3.5	
8 悪性リンパ腫	18,549	3.5	8 子宮頸部	16,089	3.4	
9 食道	17,434	3.3	9 食道	15,211	3.2	
10 膀胱	17,046	3.2	10 膀胱	14,845	3.2	

2010年報告の特筆点

- ▶ 肺がんについて、2009年と2010年のデータを合わせて、がん細胞の主なタイプ別（扁平上皮癌、腺癌、小細胞癌、その他の明示された癌腫）の集計を特別に行いました。それぞれのタイプについて、病期別登録数と、病期別にみた治療方法の割合を掲載しました。肺がんは、一般的に、同じ病期でも、タイプが異なれば、標準的な治療方法が異なるためです。
- ▶ 第3章 結果詳細（診断情報）の章の集計対象から、セカンドオピニオンなど特殊な登録例である“その他”の症例を除きました。2009年診断症例も同じ条件で再集計し、ホームページ上で公開します。

表4-6-2 病理組織別、UICC TNM分類治療前ステージ別登録数の割合（参照付表 7-6-1）

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄	合計
扁平上皮癌系	0.2	34.2	11.6	31.0	20.5	2.5	0.1	20,473
腺癌系	0.0	49.5	4.4	15.1	27.1	3.9	0.1	51,997
小細胞癌系	0.0	8.6	5.1	35.1	49.3	1.9	0.0	8,929
その他の明示された癌腫	0.1	23.4	7.7	27.7	38.7	2.5	0.1	8,547
その他	0.0	21.9	3.8	21.1	45.4	7.8	0.1	7,281
合計	0.1	38.2	6.2	21.8	30.1	3.6	0.1	97,227

表4-6-3 病理組織別、UICC TNM分類術後病理学的ステージ別登録数の割合（参照付表 7-6-2）

	0期	I期	II期	III期	IV期	適用外等/ 術前治療後	不明	空欄	合計
扁平上皮癌系	0.2	62.2	16.9	14.9	1.3	4.0	0.4	0.1	8,707
腺癌系	0.2	77.4	7.1	12.0	1.7	1.3	0.3	0.1	29,184
小細胞癌系	0.0	55.2	16.3	20.7	3.4	3.7	0.4	0.3	730
その他の明示された癌腫	0.6	55.2	16.6	19.5	3.1	4.2	0.6	0.2	2,665
その他	0.0	37.5	3.1	9.4	3.1	25.0	9.4	12.5	32
合計	0.2	72.3	9.9	13.3	1.7	2.1	0.3	0.1	41,318